



第10期(2024)CP研究会

一般社団法人日本コミュニティファーマシー協会(JACP)では「患者のための薬局ビジョン」で掲げられているかかりつけ薬剤師・薬局機能、健康サポート機能、高度薬学管理機能修得のための知識、技術、態度、コンピテンシー涵養の研修会を開催します。

オンライン配信研究会

今回は2024年度後期のCP研究会のご案内です。

2021年よりCP研究会はサプスクリプション方式で行っています。JACP会員の方は年会費を納めていれば無料で視聴できます。申し込みをされた方にはZoomのURLをお送りします。また当日リアルタイムでは参加できない方のために録画配信も行っています。これにより日程が合わない方も録画の視聴(一定期間視聴可)ができます。

- 主催 / 一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会(JACP)
- 閲覧方法 / Zoomによるオンライン配信
- 時間 / 各回ともに19時25分~21時
- 対象 / 薬剤師、薬学生、薬局関係者
- 受講料 / 会員無料、一般3,000円
- 申込締切 / 各回の開催日の2日前まで

日時	テーマ	講師	内容
第4回 9/21(土) 19時25分~21時	2026年調剤報酬改定に向けての 薬局の取り組み	日本コミュニティファーマシー協会 代表理事 吉岡ゆうこ	4月のCP研究会第1回でお話しできなかった事項、さらに4月以降の医療DXの推進状況、10月からの選定療養への取り組み、そして2026年調剤報酬改定に向けての準備のお話をします。
第5回 10/19(土) 19時25分~21時	日本における 薬剤レビューの進め方	城西国際大学薬学部 特任教授 山村重雄 有限会社飯島薬局 代表取締役 飯島裕也	薬剤レビュー(Medication-Review 薬物治療レビューとも言われています)とは、薬剤師による包括的かつ高度な専門的業務プロセスです。上田市薬剤師会はオーストラリアの専門薬剤師を招聘し、2011年度から継続してワークショップを開催してきました。そして2022年開催の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」で取り上げられ、これからの薬剤師に必要な能力であると考えられています。山村氏からは「日本で薬剤レビューを実施するための課題」、飯島氏からは「薬剤レビューによる主体的に関わる患者の薬物治療」というテーマにてお話しいただきます。
第6回 11/16(土) 19時25分~21時	がんとは突然やってくる災害と同じ? 将来への投資としてのがん防災とは	宮崎善仁会病院腫瘍内科 押川勝太郎	押川氏は宮崎市の病院でがん治療に携わっている医師です。がんと働く応援団発行の「がん防災マニュアル」の監修医師でもあります。がんを突然やってくる災害と思っていただけのように広報活動やYouTubeでのお話など、多岐にわたって活動されています。昨年のコミュニティファーマシーフェスタでがんと働く応援団の野北理事から地域住民向けにお話いただきましたが、今度は腫瘍内科の医師から薬剤師に向けたお話を聞きます。